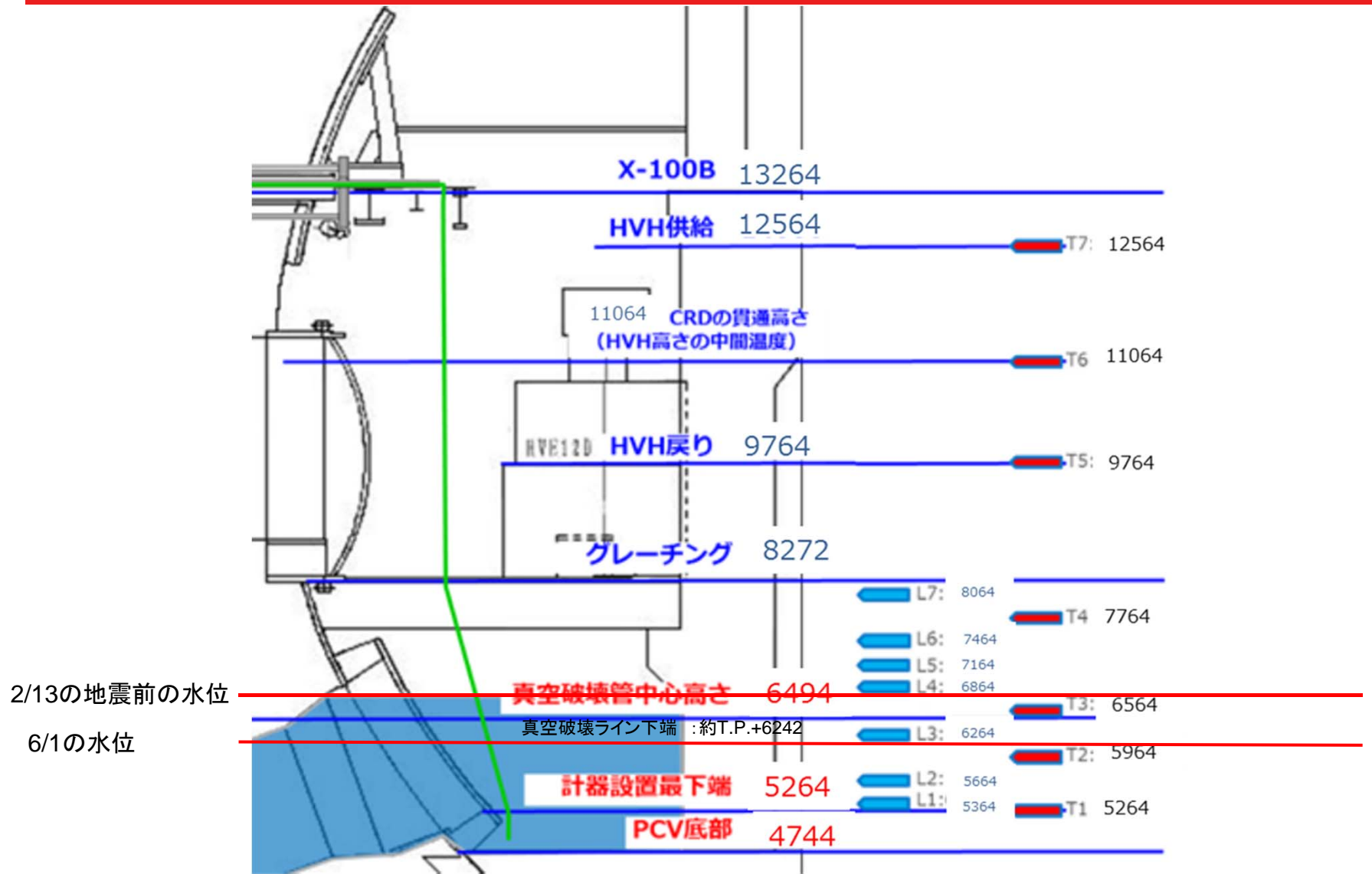


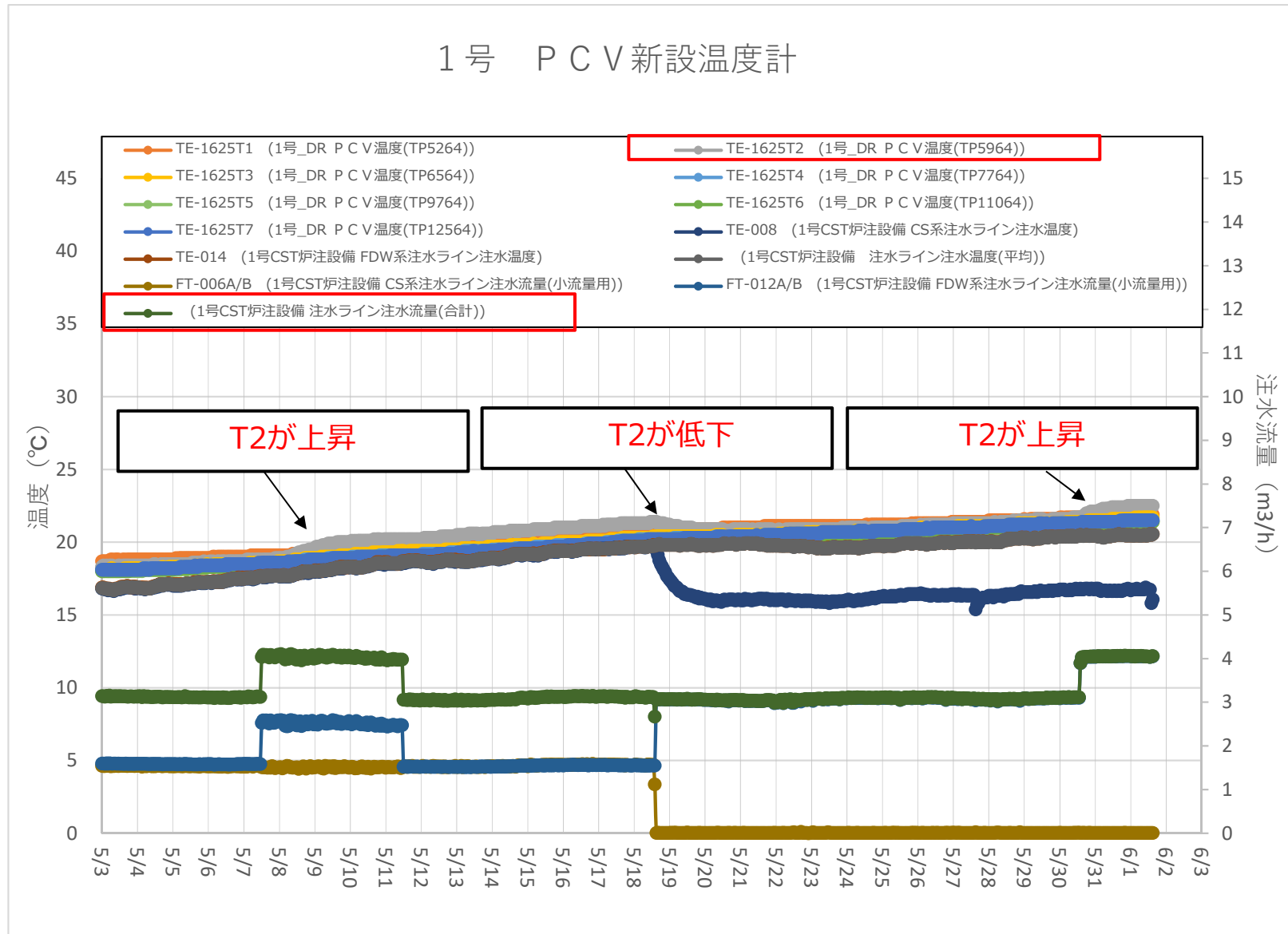
- 5月30日にお知らせした、水位監視確保の観点から実施した1号機の原子炉注水量の変更(3.1m³/h → 4m³/h)に伴い、原子炉格納容器（PCV）内の水位が上昇し、本日（6月1日）午後2時30分、温度計T2の設置位置を上回ったと判断しました。
- 従って、今後、原子炉注水量の低減操作を実施していく予定ですが、具体的な原子炉注水量については、これまでの実績や傾向を踏まえ、PCV水位の変動を安定させることも検討しているところであり、準備が整い次第、操作を行う予定です。
- なお、本日午後2時40分現在、原子炉格納容器温度、原子炉圧力容器底部温度、原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度などのパラメータに変動がないことを確認しました。また敷地境界モニタリングポストおよびダストモニタ、構内ダストモニタ等に有意な変動はなく、外部への影響がないことを確認しております。
- また、接点式の水位計であるL2については、本日、接点ON（水没）とOFF（非水没表示）を繰り返している状態を確認しています。水位計L2に関しては、引き続きPCV水位の状況や関連パラメータとともに慎重に監視してまいります。

1号機 原子炉格納容器温度計・水位計の設置高さ



設置高さの記載は標高で記載 (T.P.)

1号機 原子炉格納容器温度等



1号機 原子炉格納容器压力

